

教育責任者の中長期支援プログラムの検討 ～組織分析・強みの活用を考える～

氏名	鈴木 康美 教授
所属	看護学科
URL	https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pid=101suzu
研究分野	看護管理、リフレクション、院内教育の企画・立案・評価、協同学習
キーワード	看護管理、コンピテンシー、コーチング研修、キャリア開発、リフレクション、コミュニケーション

■ 研究シーズの概要

2017年より、専門職公開講座として、「教育責任者の中長期支援プログラム」を開催。自組織の現状について、SWOT分析をしたり、利用者、対象者の状況を分析し、必要とする職員の能力、コンピテンシーについて、一緒に考え、組織変革の課題を見出します。その結果に基づき自組織の強みを活用した研修計画の立案に結び付けます。6月～11月まで、4回、ワークショップとコーチング研修を実施します。他施設との交流もあり、昨年は、3施設がこの研修後に、自施設の教育を変革したことが報告されています。自施設の状況に応じた教育ができる教育責任者の支援が研究テーマです。今後、次年度の院内教育のために、Zoom等の遠隔による研修に、参加してみませんか？

■ 共同研究のご提案

組織の看護の質の改善、リーダー層の看護師のキャリア開発、看護実践のリフレクション等

■ 特定講座のご提案

自施設の状況、課題に沿った研究計画の立案、実施、評価のポイントを学習し、それを基に、実際に、自施設の研修を企画します。また、プロのコーチによる教育責任者、担当者のコミュニケーション能力向上のため、コーチング研修、ストレンガスファインダーを活用した研修を継続的に実施します。

プログラムの一例

回・日時	プログラム	担当者
第1回 AM9:30 ～17:00	AM オリエンテーション、自己紹介 「自施設の研修計画を考えるフレームワーク①」組織分析と人材育成、リフレクション	埼玉県立大学 鈴木康美
	PM プロのコーチによるコーチング研修 ～①スタッフとのコミュニケーションを見直す～	国際コーチ連盟コーチGallup社 認定ストレンガスコーチ、 竹内千恵子氏他
第2回	AM 「自施設の研修計画を考えるフレームワーク②」組織分析、組織の課題	
	PM プロのコーチによるコーチング研修 ～②自分自身の強みを活かす～	国際コーチ連盟コーチ
第3回	AM 「自施設の研修計画の実施、評価に関するワークショップ」	
	PM プロのコーチによるコーチング研修 ～③自分自身の強みを活かしたスタッフへの関わり～	国際コーチ連盟コーチ

■ 研究実績

2016年 大阪府看護協会、2016年～千葉県看護協会の新人看護職員担当者研修を開催。
2017年、2018年、2019年 埼玉県立大学専門職公開講座